

科学研究費補助金（基盤研究（S））事後評価

課題番号	16105002	研究期間	平成16年度～平成20年度
研究課題名	新規な液液界面反応計測法の開発と 界面分析反応の開拓	研究代表者 (所属・職)	渡會 仁 (大阪大学・大学院理学 研究科・教授)

【平成22年度 事後評価結果】

評価	評価基準
	A+ 期待以上の研究の進展があった
○	A 期待どおり研究が進展した
	B 期待したほどではなかったが一応の進展があった
	C 十分な進展があったとは言い難い
<p>(意見等)</p> <p>本研究において、全内部反射蛍光顕微鏡による界面の単一分子反応計測や、遠心液膜セルを用いた液液界面キラル計測などのユニークな界面計測法を開発した。また開発した計測法を用いて、いくつかの新規な界面分子現象を見出し、期待どおり研究が進展したと言える。これらの研究成果がどの程度の波及効果と呼ぶかについての判断は時を待たなければならない。研究期間内に、他分野に大きな影響を与えるような成果が得られなかったことは残念であるが、純粋な基礎研究であることを勘案すれば、ネガティブにとらえることではない。</p>	